

京都短期大学

平成18年度第三者評価
機関別評価結果

平成19年3月22日

財団法人 短期大学基準協会

京都短期大学の概要

設置者	学校法人 成美学苑
理事長	四方 正義
学 長	藤田 佳宏
A L O	村岡 洋子
開設年月日	昭和25年4月1日
所在地	京都府福知山市西小谷ヶ丘3370

設置学科および入学定員(募集停止を除く)

学科	専攻	入学定員
生活福祉科	食物栄養	50
生活福祉科	介護福祉	60
	合計	110

専攻科および入学定員(募集停止を除く)

なし

通信教育および入学定員(募集停止を除く)

なし

機関別評価結果

京都短期大学は、本協会が定める短期大学評価基準を充たしていることから、平成19年3月22日付で適格と認める。

機関別評価結果の事由

1. 総評

平成17年7月13日付で当該短期大学からの申請を受け、本協会は第三者評価を行ったところであるが、評価の結果、当該短期大学は、自らの掲げる教育理念の実現及び教育目標の達成に向けて順調に進捗しており、本協会が定める短期大学評価基準を充たしていると判断した。

上記の判断に至った事由は、おおよそ次の通りである。

建学の精神、教育理念については、一般的理念である「真・善・美」を創立以来の教育理念とし、実学主義を尊重しつつ、生活の自立的創造に資する教育と人材養成を行うとともに、京都北部唯一の短期大学として地域に根ざした教育機関であるという自覚と使命に即したものとなるよう位置づけている。また、その解釈や表現について点検を行っている。

学生への周知については、新入生、保護者に対して、入学時に教育目標、教育目標とともに簡潔に文章化した資料を配布し、また、学長が式辞のなかで説明している。さらに学生便覧中にも記述され、周知されている。

教育課程は、厚生労働省の指定規則に基づき、資格取得を中心としたカリキュラムを編成しているが、特に介護福祉専攻にあっては、指定規則に準拠しつつ、独自の項目・内容を盛り込むことにより、学生が専攻の姿勢と理念を理解するように努めている。

教員組織、校地・校舎面積は短期大学設置基準の規定を充たしている。図書館は、併設の四年制大学との共用施設で教育環境は整っており、専任司書が利用者へのサービスに努めている。

教育目標の達成度については、個々の教員が自主的な授業に対する満足度調査を実施するなどの努力している。

学習支援、学生生活支援、進路支援は、教職員の積極的な努力がなされている。特に単位取得が困難な学生に対しては、補習授業を実施し、再試験を行うなど、学生を支援している。

学生のボランティア活動は、1市3町の婦人団体主催「はばたきフェスティバル」(毎年2月開催)への参加をはじめ、活発であり、平成15年にはボランティア部が京都府知事から表彰を受けている。

財務運営はおおむね適切に行われているが、法人全体の収入支出の改善が望まれる。また、施設設備の管理は、規程などに即し行われている。

2. 優れていると判断される事項など

(1) 優れていると判断される事項

評価領域 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標

成り立ちについての歴史的背景を踏まえた上で、一般的理念である「真・善・美」を、地域に根ざした教育機関としての自覚および使命に即した形で位置づけている。

評価領域 教育目標の達成度と教育の効果

介護福祉専攻の専門職への就職率は過去3年間100%であり、評価できる。

評価領域 学生支援

学習支援を積極的に行っており、各教科において合格レベルに達していない学生に対して、科目担当者が補習などを行っている。

多様な学生の受入れとして、留学生および社会人学生を積極的に受け入れている。特に留学生については、過去3年間、毎年10名以上を受け入れていることは評価できる。

(2) 向上・充実のための課題

評価領域 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標

建学の精神・教育理念に対して、法人理事会側と短期大学教職員との共有化に配慮されたい。

評価領域 教育の内容

短期大学は、短期大学士の学位授与機関であることから、専門教育のみならず教養教育の充実を検討されたい。

卒業要件と資格要件とを分けて考える必要があるのではないか。また、教育課程が一覧できるように、学生にも分かりやすい科目履修表を提示されたい。

評価領域 教育の実施体制

教員の年齢構成に大きな偏りがみられることから、バランスのとれた教員構成となるよう留意されたい。

評価領域 教育目標の達成度と教育の効果

食物栄養専攻も卒業生の追跡調査の実施を検討されたい。

評価領域 学生支援

学生支援については、個々の教員の努力ばかりでなく、学科をあげて組織的な取り組みを行うよう配慮されたい。

評価領域 研究

教員の研究意欲を向上させるための施策を行うことに努められたい。

評価領域 社会的活動

食物栄養専攻については社会的活動への積極的な取り組みが期待される。

評価領域 財務

法人全体の財務の向上・充実が望まれる。

評価領域 改革・改善

専攻単位ではなく、学科としての一体感を持って改革・改善（教育活動を含む）に取り組まれたい。また両専攻間の相互活用を検討されたい。

(3) 早急に改善を要すると判断される事項

なし

領域別評価結果

評価領域		評価結果
評価領域	建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標	合
評価領域	教育の内容	合
評価領域	教育の実施体制	合
評価領域	教育目標の達成度と教育の効果	合
評価領域	学生支援	合
評価領域	研究	合
評価領域	社会的活動	合
評価領域	管理運営	合
評価領域	財務	合
評価領域	改革・改善	合

評価領域 建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標

建学の精神・教育理念については、「真理の追及」「善の実践」「美の実現」を基本理念とし、実学主義を尊重しつつ生活の自立的創造に資する教育と人材養成を行うとともに、地域に根ざした教育機関としての自覚および使命に即したものとなるように位置づけ、建学の精神・教育理念、教育目的・教育目標は確立し、教育目的・教育目標は明確に示されている。

学生への周知については、新入生、保護者に対して、入学時に教育目標、教育目標とともに簡潔に文章化した資料を配布し、また、学長が式辞のなかで説明している。さらに学生便覧中にも記述され、周知されている。

教育目的・教育目標の解釈や表現については、専攻内で点検、見直しが行われているが、短期大学全体として点検活動に際しての手続き・手だてなどのシステムが組織的に充分、確立されていない。今後は、学校法人、短期大学全体として建学の精神、教育理念などの共有化を検討されたい。

評価領域 教育の内容

教育課程は、厚生労働省の指定規則に基づき、資格取得を中心としたカリキュラムを編成しているが、特に介護福祉専攻にあっては、指定規則に準拠しつつ、独自の項目・内容を盛り込むことにより、学生が専攻の姿勢と理念を理解するように努めている。短期大学は、短期大学士の学位授与機関であることから、専門教育のみならず教養教育の充実を検討されたい。

卒業要件と資格要件とを分けて考える必要があるのではないか。また、教育課程が一覧できるような、学生にも分かりやすい科目履修表を提示されたい。

授業内容、教育方法などの学生への周知については、シラバスに明示されている。また、教育方法などの改善については、教員が個々に努力しているが、組織的な取り組みとはいえない。シラバスにすべての学習情報を明示することは限界があるが、評価方法についてはきわめてあいまいである。学生にとってきめ細かな情報提供が望ましい。

評価領域 教育の実施体制

教員組織、校地・校舎面積は短期大学設置基準の基準を充たしている。

ただし、教員の年齢構成に大きな偏りがみられることから、バランスのとれた教員構成となるよう留意されたい。

図書館（メディアセンター）・学習支援センターは、併設の四年制大学と共用の形で設置され、当該短期大学および併設大学の学生、教職員の学習、教育・研究に必要な学術資料を収集・保管してその利用に供するとともに学習、教育・研究ならびに事務の情報化に関する支援を行っている。

評価領域 教育目標の達成度と教育の効果

介護福祉専攻の専門職への就職率は過去3年間100%であり、評価できる。

個々の教員は教育目標の達成に向けて努力しているが、学科全体さらには全学規模で組織的に取り組むよう努力されたい。

学生への卒業後評価に対する取り組みについては、介護福祉専攻についてはおおむね取り組みへの努力が認められるが、食物栄養専攻においても卒業生への追跡調査の実施を検討されたい。

介護福祉専攻では、卒業研究の科目を設定し、読む・書く・まとめるなどを通じて、自己表現の手段として研鑽させるとともに、介護の理念を正確に把握し、高齢者の生涯とくらしを尊重する姿勢を身につけるなどの効果を上げている。

評価領域 学生支援

学習支援、学生生活支援および進路支援については、教職員の積極的な支援がなされている。特に、合格レベルに達していない学生に対して、科目担当者が学習支援を積極的に行っている。しかし、学習への動機づけなど、教育面での支援体制は、組織的に行われるよう努められたい。

多様な学生の受入れとして、留学生および社会人学生を積極的に受け入れている。特

に留学生については、過去3年間、毎年10名以上を受け入れていることは評価できる。また、留学生については、国際センターを設置し、申請業務などの生活支援を行っている。

入学定員の多くを指定校推薦にあてているが、今後予想される少子化を考慮し、入学学選抜方法について検討されたい。

評価領域 研究

研究活動は個々の教員に委ねられているため、あまり活発ではない。「個人研究費取り扱い要綱」が定められているので、活性化させるよう配慮されたい。

評価領域 社会的活動

介護福祉専攻については、公開講座の開設など社会的活動に対して積極的であり、教育活動の一環としてシステム化されている。しかし、食物栄養専攻は個々の活動に委ねられており、単発的な活動に終始している。

学生のボランティア活動は1市3町の婦人団体主催「はばたきフェスティバル」(毎年2月)への参加をはじめ、活発であり、平成15年にはボランティア部が京都府知事から表彰を受けている。

評価領域 管理運営

評議員会の開催数がやや少ないものの、理事会および評議員会は定期的に行われている。

評価領域 財務

財務運営についてはおおむね適切といえるが、中・長期計画が作成されていない。教育研究経費比率は帰属収入の20%を超え、過去3年間は健全に推移している。支払資金は相応に持ち合わせているが、過去3年間の収支構造の推移からみて財務体質の向上・充実に努められたい。

規程などに沿った施設設備の管理は、相応に行われている。

評価領域 改革・改善

自己点検・評価活動については、規程は定められているものの、全学的な実施体制が

確立されていない。実施状況については、平成14年度に「自己点検評価・報告書」を作成している。

相互評価などの外部評価については、これまで実施していない。